

# 災害時における多言語情報伝達訓練

近年、日本各地で地震や台風などによる自然災害が多発する中、日本語能力や災害に関する知識が充分でない外国人住民は、災害弱者になる可能性が高いことが指摘されています。こうした状況を踏まえ、香川県では、災害時に外国人住民に対して多言語で情報提供を行う「災害多言語支援センター」の設置運営訓練を実施しており、今年度は坂出市で開催します。



日 時 **2020年2月2日(日) 10:00~15:30**  
 場 所 坂出市勤労福祉センター (坂出市寿町1丁目3-38)  
 内 容 **第1部 災害時の多言語情報伝達に関する研修**

参加  
無料

香川県や近隣県で大規模災害が発生した場合の多言語支援センター開設を想定し、過去の災害時の例から、災害多言語支援センターが果たす役割や、情報伝達のポイント等について学びます。

**第2部 災害時通訳ボランティア研修 (英語・中国語・やさしい日本語)**

多言語支援センターの重要な役割のひとつである、避難所巡回の活動における外国語(やさしい日本語を含む)でのコミュニケーションに焦点を当て、必要な語学力やスキル等を実践的に学びます。

講師：柴垣 禎 (しばがき ただし) 氏 [(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会 理事]  
 富山県職員。2007年の新潟中越沖地震時に外国人支援活動に従事した経験から、(一財)自治体国際化協会の「災害多言語支援センター設置運営マニュアル」等の作成に携わる。2011年3月の東日本大震災では、発災当日に設置された多言語支援センターにて、10言語での災害情報発信に尽力し、2016年4月の熊本地震では、多言語支援センターにおける外国人支援関係者のコーディネーターにおいて、中心的な役割を担った。これらの経験をもとに、全国各地で災害時外国人支援の人材育成に努めている。

対 象 以下のいずれかに該当する方。かつ、第2部で英語・中国語を選択する場合は、どのような状況でも適切なコミュニケーションがとれるレベルの英語・中国語運用能力\*を有する方。(ノン・ネイティブの方については、日本語での講義が十分に理解できること。)

- A. 当協会もしくは市町国際交流協会等の通訳・日本語指導ボランティア等(登録予定者も含む)
- B. 行政・団体職員、教職員、外国人受入企業社員等

※外国語能力の目安 英語・・・英検準1級、TOEIC730点程度～

中国語・・・中国人：日本語能力試験1級程度

日本人：中国語検定試験2級、HSK5級程度

定 員 30名程度(定員になり次第締め切ります。)

申込方法 参加申込書に必要事項を記入の上、**1月21日(火)**までにFAX等でお送りいただくか、アイパル香川までご持参ください。電話でのお申込みの際は、必要事項をお知らせください。

そ の 他 昼食として、非常食を提供します。

## 2019 年度 災害時における多言語情報伝達訓練 参加申込書

氏名	(フリガナ)	住所	
国籍	/	E-mail	
母語	語	携帯電話番号	
所属 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> ボランティア ( <input type="checkbox"/> 通訳・ <input type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 災害 ) <input type="checkbox"/> 行政/団体職員、教職員 (機関・学校名: ) <input type="checkbox"/> 外国人受入企業・組合等 (機関名: )		
第2部スキルアップ訓練での受講希望言語	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> やさしい日本語 ※選択した言語に関する資格や通訳・翻訳の経験があればご記入ください。		

〒760-0017 高松市番町1-11-63 アイパル香川2階

TEL:087-837-5908 FAX:087-837-5903 E-mail:toroku@i-pal.or.jp

主催:香川県・坂出市 協力:坂出市国際交流協会 受託団体:(公財)香川県国際交流協会